

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
こころとからだのしくみⅢ Physical and Emotional Mechanisms Ⅲ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (福祉・心理の初学者を想定している)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小竹仁美	講義棟3階	水曜日・木曜日・金曜日 (授業と学生相談の時間 帯を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
この科目は、「こころとからだのしくみ」のうち、主に心理的側面について講義や演習によって学ぶものである。心理学の基礎的理論や心理学の諸領域について解説し、少人数グループでのワークを通して、コミュニケーションや集団行動について学ぶ。				
授業の到達目標				
①自己理解と他者理解のための心理学基礎理論を学び、自己や他者理解の方法を身につけることができるようにする ②少人数グループでの活動体験を通してコミュニケーションについて学び、援助に必要な態度を身につけることができるようにする				
授業の方法				
講義と演習。				
学習の成果				
この授業に積極的に参加することによって、①人間理解のための心理学の基礎的知識と理論を知ることができる ②将来の介護職として働くために重要な他者とのコミュニケーション力を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス : 授業概要や目標、成績評価と受講上のルールを説明する。			
第2回目	グループ活動① : クラスの全員と話す、自分の思考や行動の傾向を知る			
第3回目	グループ活動② : グループでの話し合い、メンバーの前で意見を述べる、メンバーの意見を聴く			
第4回目	介護者が利用者や家族に働きかけることの重要性を考える、脳と心の関連を学ぶ			
第5回目	グループ活動③ : メンバーの前で自分を語る、自己開示について考える			
第6回目	実験 : 感覚のズレや個人差を知る			

第7回目	実験 : 新規場面への反応		
第8回目	記憶と忘却の仕組みを学ぶ		
第9回目	さまざまな自己表現の方法を体験する、描画		
第10回目	心理検査を体験して、メリットとデメリットを考える		
第11回目	グループ活動④ : メンバーが協力して一つの問題を解決する		
第12回目	イメージを目に見える形にして伝える		
第13回目	ストレスは人にどのような影響を与えるかを学ぶ		
第14回目	グループ活動⑤ : 個人の意見とグループの意見		
第15回目	振り返りとまとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		60%	グループ活動への参加の積極性を評価する。
レポート		40%	毎回の授業後の振り返りのために実施し、授業内容をどのように理解しているかを評価する。S評価の基準は、授業の目的を把握し、授業によって得た学びを論理的に記述していることとする。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。適宜、資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
積極的な参加を期待する。			